

第15回日本バイオセーフティ学会総会・学術集会プログラム
会場：戸山サンライズ（東京都新宿区）

9月15日（火）（1日目）

受付：9時30分～

特別シンポジウム

「JBSA バイオセーフティガイドライン案の解説」 [10:00～10:30]

座長：倉田 毅（国際医療福祉大学）

1. 概要

国立感染症研究所

篠原 克明

2. 各項目解説

JBSA バイオセーフティガイドライン作成WG

北林 厚生

「我が国における新興・再興感染症対応についてⅠ」 [10:30～12:00]

座長：倉根 一郎（国立感染症研究所）

1. MERS（中東呼吸器症候群）

1) 中東呼吸器症候群（MERS）とは

国立感染症研究所

松山 州徳

2. SFTS（重症熱性血小板減少症候群）

1) SFTS とは

国立感染症研究所

西條 政幸

2) SFTS の国内発生状況

国立感染症研究所

福士 秀悦

「我が国における新興・再興感染症対応についてⅡ」 [13:00～17:00]

1. 国内におけるデング熱発生

座長：棚林 清（国立感染症研究所）

1) デング熱の国内流行 ～70年ぶりの再興～

国立感染症研究所

高崎 智彦

2) 国内におけるデング熱媒介蚊対応について

国立感染症研究所

沢辺 京子

2. エボラ出血熱

座長：西條 政幸（国立感染症研究所）

1) エボラウイルスとは

北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター

高田 礼人

2) 流行国の医療状況

東京都保健医療公社豊島病院

足立 拓也

3) 国内検査法と体制

国立感染症研究所

下島 昌幸

4) エボラ出血熱に対する国内医療機関体制

国立国際医療研究センター

加藤 康幸

5) エボラ出血熱に対する対応

厚生労働省結核感染症課

宮川 昭二

6) エボラ曝露対応防護具など

国立感染症研究所

篠原 克明

9月16日(水)(2日目)

受付: 9時30分～

開会挨拶 [10:00～10:10]

学会長 篠原 克明 (国立感染症研究所バイオセーフティ管理室)

セッションⅠ 安全管理全般 [10:10～11:40]

座長: 棚林 清 (国立感染症研究所)

JBSA ガイドライン案 (安全管理全般)

国立感染症研究所

篠原 克明

病原体管理の例 病原体管理システム

富山県衛生研究所

綿引 正則

病原体輸送

国立感染症研究所

原田 俊彦

セッションⅡ 施設・設備設計 [13:00～14:00]

座長: 北林 厚生 (イカリ消毒株式会社)

JBSA ガイドライン案の紹介 (施設・設備)

須賀工業株式会社

三木 秀樹

BSL3 室 扉開閉時の粒子の挙動解析とその対策

ダイダン株式会社

三浦 裕一

セッションⅢ 安全機器、器具 [14:00～15:00]

座長: 吉田 一也 (ダイダン株式会社)

安全キャビネットの JIS 規格改定 (討議中) について

日本エアーテック株式会社

後藤 浩

バイオハザード対策用防護服の現状と課題

アゼアス株式会社

熊谷 慎介

セッションⅣ 病院・検査室バイオセーフティ [15:15～16:45]

座長: 賀来 満夫 (東北大学大学院)

エボラ検査

国立感染症研究所

下島 昌幸

感染症指定医療機関の立場から

国立国際医療研究センター

加藤 康幸

感染管理に配慮した病院設計

株式会社竹中工務店

辻 吉隆

懇親会

[17:30～19:30]

9月17日(木)(3日目)

受付:9時30分～

セッションV 一般演題 [10:00～11:00]

座長: 棚林 清 (国立感染症研究所)

BSC 流入風速の日常の確認方法

株式会社日立産機システム

小野 恵一

二酸化塩素による安全キャビネットの除染

日本エアータック株式会社

真家 未妃

バイオセーフティ講習の手法に関する考察

国立感染症研究所

伊木 繁雄

総会 [11:00～11:30]

特別セッション [13:00～14:30]

座長: 篠原 克明 (国立感染症研究所)

中東呼吸器症候群(MERS)の現状について

国立感染症研究所

松山 州徳

赤痢菌の薬剤耐性と分子疫学の傾向について

国立感染症研究所

泉谷 秀昌

ポリオウイルス病原体管理に関するWHO行動計画(GAP III)と今後の課題

国立感染症研究所

清水 博之

セッションVI 除染全般 [14:30～15:30]

座長: 川又 亨 (日本エアータック株式会社)

最近の除染方法について

イカリ消毒株式会社

杉浦 彰彦

環境滅菌技術

大阪薬科大学

村上 能庸

セッションVII 動物バイオセーフティ [15:45～16:45]

座長: 黒澤 努 (鹿児島大学)

実験動物のバイオセーフティ -施設・設備について-

ダイダン株式会社

吉田 一也

霊長類医科学研究センターにおける新感染症実験施設

医薬基盤・健康・栄養研究所霊長類医科学研究センター

保富 康宏

閉会挨拶 [16:45～16:55]

学会長 篠原 克明 (国立感染症研究所バイオセーフティ管理室)